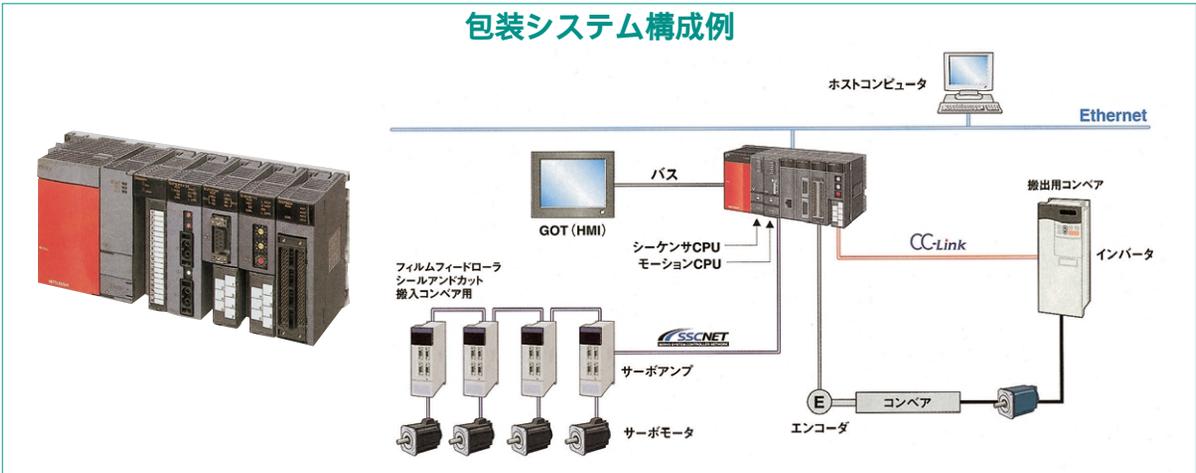


**包装システム構成例**



**CPUユニット性能仕様**

項目	ベーシックモデル			ハイパフォーマンスモデル				
	Q00JCPU	Q00CPU	Q01CPU	Q02CPU	Q02HCPU	Q06HCPU	Q12HCPU	Q25HCPU
制御方式	スタードプログラム繰返し演算							
入出力制御方式	リフレッシュ方式							
プログラム言語 (シーケンス制御専用言語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレーシンボル言語(ラダー)</li> <li>・ロジックシンボリック言語(リスト)</li> <li>・MELSAP⅔(SFC)、MELSAP-L</li> <li>・ストラクチャードテキスト(ST)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレーシンボル言語(ラダー)</li> <li>・ロジックシンボリック言語(リスト)</li> <li>・MELSAP⅔(SFC)、MELSAP-L</li> <li>・ストラクチャードテキスト(ST)</li> </ul>				
処理速度	LD命令	200ns	160ns	100ns	79ns	34ns		
(シーケンス命令)	MOV命令	700s	560ns	350ns	237ns	102ns		
(注1)	PC MIX値(命令/μs)	1.6	2.0	2.7	4.4	10.3		
(注1)	浮動小数点加算	65.5 μs	60.5 μs	49.5 μs	1815ns	782ns		
総命令数(注3)		318	327			381		
実数演算(浮動小数点演算)命令			可			可		
文字列処理命令			可(注6)			可		
PID命令			可			可		
特殊関数命令 (三角関数、平方根、指数演算など)			可			可		
コンスタントスキャン (スキャンタイムを一定にする機能)		1 ~ 2000ms(1ms単位で設定可能)			0.5 ~ 2000ms(0.5ms単位で設定可能)			
プログラム容量		8kステップ		14kステップ	28kステップ	60kステップ	124kステップ	252kステップ
入出力デバイス点数 [ X/Y ]		2048点			8192点			
入出力点数 [ X/Y ]		256点	1024点		4096点			
内部リレー [ M ]		8192点			8192点			
ラッチリレー [ L ]		2048点			8192点			
リンクリレー [ B ]		2048点			8192点			
タイマ [ T ]		512点			2048点			
積算タイマ [ ST ]		0点			0点			
カウンタ [ C ]	(注4)	512点			1024点			
データレジスタ [ D ]		11136点			12288点			
リンクレジスタ [ W ]		2048点			8192点			
アナライザ [ F ]		1024点			2048点			
エッジリレー [ V ]		1024点			2048点			
ファイルレジスタ [ R、ZR ]		無	65536点	32768点(注5)	65536点(注5)	131072点(注5)		
リンク特殊リレー [ SB ]		1024点			2048点			
リンク特殊レジスタ [ SW ]		1024点			2048点			
ステップリレー [ S ]		2048点			8192点			
インデックスレジスタ [ Z ]		10点			16点			
ポインタ [ P ]		300点			4096点			
割込ポインタ [ I ]		128点			256点			
特殊リレー [ SM ]		1024点			2048点			
特殊レジスタ [ SD ]		1024点			2048点			
ファンクション入力 [ FX ]		16点			16点			
ファンクション出力 [ FY ]		16点			16点			
ファンクションレジスタ [ FD ]		5点			5点			
ローカルデバイス		無			有			
デバイス初期値		有			有			

注1) デバイスをインデックス修飾した場合も、処理時間の遅延は発生しません。注2) JPC MIX値とは、1μsで実行する基本命令やデータ処理命令などの平均命令数です。数値が大きいほど処理速度が速いことを示します。注3) インテリジェント機能ユニット専用命令は含まれていません。注4) デフォルトでの点数を示します。パラメータにより変更が可能です。注5) 内蔵メモリ(標準RAM)使用時の点数を示します。SRAMカード、Flashカードにより拡張が可能です。(Flashカードの場合は、プログラムからの書き込みはできません。)SRAMカード使用時は、最大1041408点を使用できます。注6) 文字列は文字列データの転送命令(\$MOV)でのみ使用できます。